



秋の空気が冷ややかに感じる今日この頃、各地から紅葉の便りが届くようになりました。相模原地区の高等学校各校に於いても全ての学校が文化祭を終え、晩秋らしい感じがしています。なお、この会長通信は不定期発行です。

## 県立相模原高等学校

### 創立 60 周年記念式典開催

去る 11 月 10 日に相模原市民会館に於いて県立相模原高等学校（以下「県相」という。）の創立 60 周年記念式典および祝賀会が開催されました。式典には在校生全員と教職員の他、PTA 役員、係員、同窓会、来賓の方々が参集し、挙行されました。

校長、PTA 会長、同窓会会長の祝辞が述べられ開校時のエピソードとして校舎屋上での入学式や凸凹の校庭を整備した思い出などを話されました。

式典は生徒実行委員会が企画し、探究成果発表として、二段式ペットボトルロケットの開発が披露され、水噴射式とエタノール式のロケットの特性を分析した結果、二段式の開発が可能ではないかと発想し、双方の特性を生かし、水噴射式ロケットの頭部に二段目のエタノール式ロケットを組み合わせ、二段目の引火方法や時間のタイミング等、失敗を重ねることおよそ 240 回以上の打ち上げ失敗を重ね試行錯誤の積み重ねを得て成功に導きました。また、海外研修発表のグループはアメリカ研修での報告を行い、アメリカの大学授業参加、現地での学生との交流、航空博物館やマイクロソフト本社の見学で得た貴重な体験と英語によるコミュニケーションが出来たことで自信が持てるようになったことなど盛り沢山の内容を上手く纏めて発表されました。SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定、学力向上進学重点校エントリー校となった県相生ならではの内容でした。

会場を盛り上げる企画として県相に因んだクイズコーナーがあり、クイズ研究部の生徒による出題がされ、全問正解者には素敵な景品がプレゼントされる企画で、全 5 問のうち 4 問目で全問正解者 1 人となってしまいましたが、なかなか盛り上がりました。

続いて、県相の文化部と云えば有名なマンドリン部による演奏が披露され、マンドリンも高音域、中音域、低音域のタイプがあるようで、演奏する生徒が 8 本の弦を弾く指を小刻みに震わせ、夫々の音色が見事に調和し、優美で迫力のある演奏は、まさに「心の琴線に触れる」そのものでした。

最後に会場を盛り上げるイベントとして県相の応援歌「県相ソウル」を吹奏楽部の演奏と野球部が振付を指導、先導して全員で振付を合わせ大合唱と、まさに生徒主導の素晴らしい思い出に残る式典でありました。

式典後の祝賀会では、OB の皆さんが昔話に花を咲かせておられ、その中に教員で県相 OB に私と同年代で知り合いの方がおり、なんと本校校長（県相 OB）の先輩であったことが分りましたビックリ!!

※本校も間もなく創立 20 周年を迎えようとしています。県相の生徒達主導による式典は大変参考になりました。本校が迎えるその時も活気あふれ、在校生や同窓生の心に刻まれる式典が出来ればいいなと思います。（校長先生をはじめ先生方、生徒会の皆さん、サポーターズのみんな宜しくお願いします。）

By サポーターズ会長（二十周年事業実行委員長）でした。!!!

※今回のレポートにおいて式典並びに祝賀会は撮影禁止のため画像がありません。